

100-238

問題文

冠攣縮性狭心症の重大な危険因子として喫煙がある。我が国における喫煙及び喫煙対策に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 2000年以降の日本人男性の喫煙率は低下しており、現在、欧米諸国に比べかなり低い。
2. 環境基本法では、病院の管理者に、利用者の受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるように努めることを義務づけている。
3. 2013年度から開始された「21世紀の国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」で、未成年の喫煙率0%をはじめ、喫煙に関する目標が設定されている。
4. 特定保健指導の対象者の選定・階層化には、喫煙歴の有無も加味される。
5. 医師によるニコチン依存症患者への禁煙指導は、医療保険給付の対象外である。

解答

問238 : 3, 5問239 : 3, 4

解説

問238

選択肢 1 ですが

ニフェジピンの副作用として高血糖があります。低血糖を起こしやすい、ということはありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

納豆摂取を避けるべき薬は、ワルファリンです。ニフェジピンの効果に影響がある食べ物としては、グレープフルーツジュース (GFJ) があります。また、その相互作用は、内服薬の効果を増強する方向です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい選択肢です。

選択肢 4 ですが

痛みの程度によらず、1回1噴霧です。痛みが3分経っても収まらない時にもう1回使用します。3回以上は使用しません。痛みが2回めの使用以後も改善しない場合は、重度の狭心症の危険があり救急車を呼ぶべき状態です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

ちなみに初めての使用 及び 1ヶ月程度使用していない場合の使用 では、空噴霧を数回行い、薬液が噴霧されることを確認した上、使用します。また、寝ている場合は頭を少し起こして使用します。

以上より、正解は 3,5 です。

問239

選択肢 1 ですが

日本人男性の喫煙率は低下傾向です。JT の「全国たばこ喫煙者率調査」によれば約 30 % です。ですが、欧米諸国に比べかなり低いとはいえません。欧米の男性も、大体 20～30 % の喫煙率です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

受動喫煙防止措置の努力義務は、健康増進法により規定されています。環境基本法では、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが

いわゆる禁煙外来であり、保険適用です。つまり、医療保険給付の対象です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。

